

各 報 道 機 関 御 中

国立大学法人 山梨大学

「地域中核・特色ある研究大学の連携による
産学官連携・共同研究の施設整備事業」の採択決定について

山梨大学は、文部科学省が公募した「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に申請し、採択されました。

本事業は、地域の中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学に対し、共同研究拠点化に向けた施設やオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備に支援されるものです。

本学は、提案大学として「クリーンエネルギー研究拠点施設」を、順天堂大学の連携大学として「先端脳科学研究拠点施設」を申請し、いずれも採択され、甲府東キャンパス(クリーンエネルギー研究)及び医学部キャンパス(先端脳科学研究)にそれぞれ整備いたします。

提案大学として採択された、クリーンエネルギー研究拠点施設整備の事業計画については、別紙のとおりです。なお、連携大学として採択された先端脳科学研究拠点施設の事業計画はあらためて発表いたします。

【文部科学省 HP】

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/mext_01231.html

【問い合わせ先】

山梨大学 研究推進部 研究推進課
TEL:055-220-8030
E-mail:kensui-tr@yamanashi.ac.jp

【広報担当】

山梨大学 総務企画部 総務課 広報企画室
TEL:055-220-8006/FAX:055-220-8799
E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

(別紙)

【クリーンエネルギー研究拠点施設整備の事業計画】

○概要：本学の最大の強みである水素・燃料電池を中心としたクリーンエネルギー研究により、わが国のエネルギー供給構造の転換 GX におけるクリーンエネルギー研究推進の司令塔となる拠点として、同研究分野関連の実験、共同研究および大学発ベンチャーのために利活用する施設を本学甲府東キャンパスに整備する。

社会実装のための研究拠点であり、地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、自治体、産業界および金融業界等との協働を通じ、地域課題解決、更には「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指す。また、ベンチャー創出事業に強みを有する信州大学が連携機関として参画し、本施設を一部共同利用する。この連携により、お互いの事業化力の向上を図るとともに、クリーンエネルギーの社会実装を山梨県から長野県への拡大を図る。

本施設は燃料電池、太陽光発電およびグリーン水素等の再生可能エネルギーのみを利用し、地中熱の利用などエネルギー効率を最優先とした ZEB (Net Zero Energy Building) とすることで、これらの実証施設として利用するとともにクリーンエネルギー研究の拠点としてのシンボリックな建物とする。

○整備予定の施設内容：階数:地上4階、建築面積:391 m²、延床面積 1,564 m²

【各階の具体的な利用内容】

1階	共用実験室	クリーンエネルギー研究の拠点として国内外の研究機関、参画機関および民間企業との共同研究を実施。 「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」、クリーンエネルギー関係の学生および市民対象の実験に利用。
2～3階	オープンラボ・共同研究ラボ	参画機関、民間企業との共同研究および大学発ベンチャーに利用。
3～4階	教員室・実験室	研究の効率化を図るため、学内に分散しているクリーンエネルギー関係の教員および実験室を集約。

○事業規模：10億円